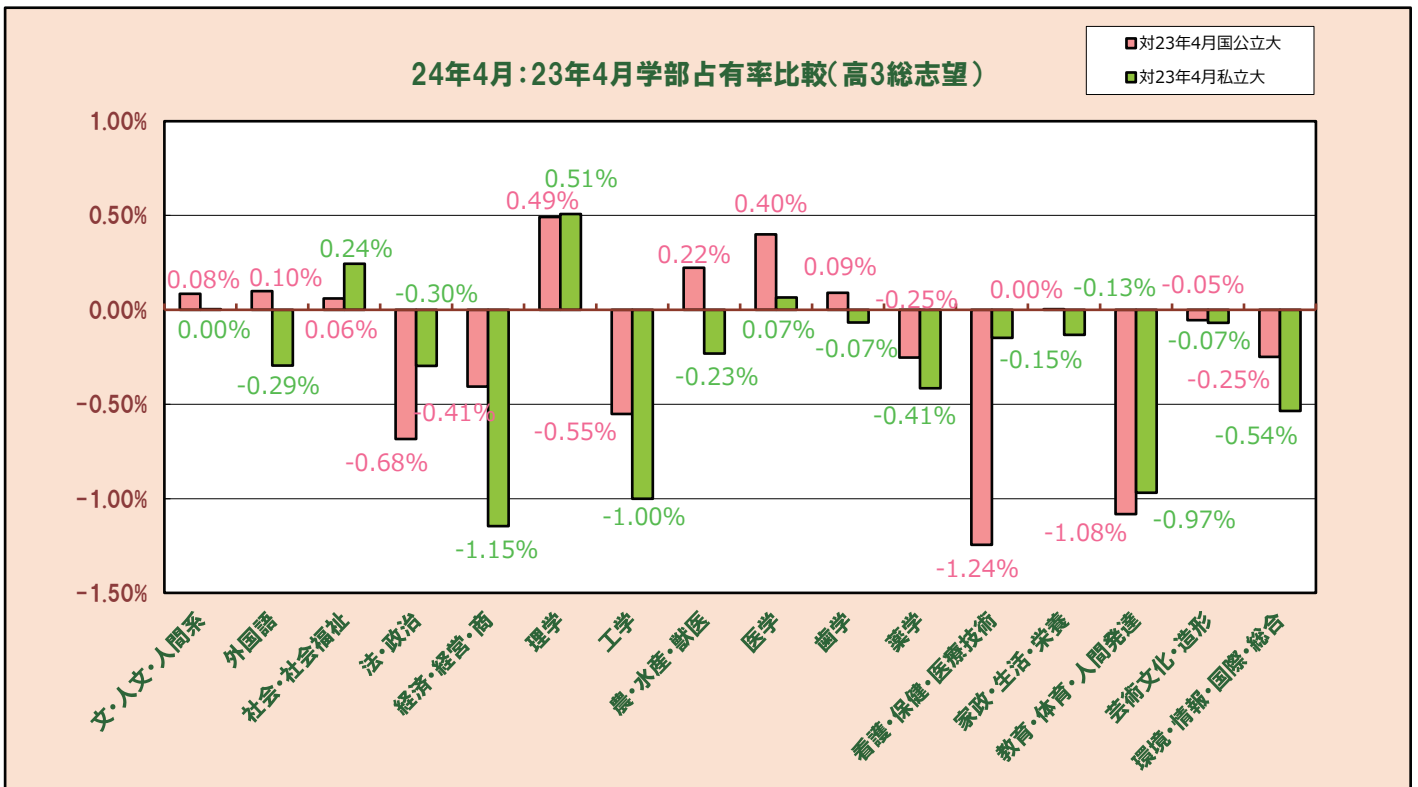


第2回 4月 共通テスト本番レベル模試

新年度最初の力試し！ 基礎をしっかりと固め、スタートダッシュを。

4月28日（日）に実施した「第2回 4月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、前年同時期の高3生の志望動向と比較した。
旧課程入試最後の受験生はポストコロナの世の中となった前年同時期に、どのような学問を目指して新年度を迎え、学習に励んでいたのだろうか。参考にしてほしい。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

■国公立大

社会科学系のうち、法・政治系、経済・経営・商系の志望者が減っているものの、人文科学系を中心とした文系人気の復調傾向は継続している。

一方で理系は、薬学系や看護・保健・医療技術系の志望者離れが継続しており、農・水産・獣医系や医学系、歯学系に人気集中している状況である。

■私立大

文系は外国語系が減少しているが、環境・情報・国際・総合系の国際系の志望者は増加している。教育・体育・人間発達系は国公立大も含めて志望者は減少の一途をたどっており、回復の兆しはみられない。

理系は農・水産・獣医系と歯学系の志望者減が国公立大と異なる傾向であるが、歯学系は設置大学数および募集人員が少ないことから、わずかな増減でも指数に影響が出やすいことを考慮しなければならない。

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	102	100	104
外国語	111	83	95
社会・社会福祉	104	105	108
法・政治	88	97	97
経済・経営・商	96	94	98
理学	106	108	111
工学	98	95	101
農・水産・獣医	104	90	105
医学	104	102	109
歯学	112	76	107
薬学	94	90	96
看護・保健・医療技術	81	96	90
家政・生活・栄養	101	85	95
教育・体育・人間発達	81	73	81
芸術文化・造形	89	95	96
環境・情報・国際・総合	95	92	97
うち情報	90	99	98
うち国際	97	102	103

※このデータは、2024年と2023年の「第2回 4月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。